

区民と区長のタウンミーティング概要

日 時	令和元年11月21日(木) 19時から20時15分
会 場	弥生区民活動センター 洋室 3, 4, 5号
テ ー マ	地域における移動がもっと便利になるためには
出席者 区 民	計 21 人(男性 12人、女性 9人)
区 側	区長 基本構想担当課長 南部すこやか福祉センターアウトリーチ推進担当課長
事務局	企画部職員2人、地域支えあい推進部職員2人、都市基盤部職員1人
一 時 保 育	無
手 話 通 訳	無

区長あいさつ

今回は「移動」がテーマである。中野区は以前から南部と北部の行き来が難しいという問題がある。また、中野区はこれからますます高齢化率が上がる見込みである。区内には歩いて10分以内で駅に行けない地域や坂が多い地域がある。移動が不便で家から出なくなりひきこもるようになると、足腰が悪くなり、要介護状態になる可能性が高くなる。今回は、包括連携協定を結んだトヨタモビリティ東京株式会社にご協力いただき実施する。事業者とともにタウンミーティングを実施するのは初めての試みである。ぜひ皆様の忌憚ないご意見をいただきたい。

各グループの発表概要

■バスの現状と要望

- ・バスの本数が少ないので、狭い道でも通れるように、小型のバスをもっと作ってほしい。また、発災時に備えて消防車も小型にしてほしい。
- ・バスの移動がメインである。移動はバスしかないのもっとバスが便利になってほしい。
- ・中野区は南と北に分かれていて不便である。南の地域から東京警察病院に行く時には乗り換えをしなくてはならない。
- ・南部高齢者会館と中野駅を結ぶバスの運行本数が減ってしまった。
- ・中野駅にバスターミナルを作してほしい。バスターミナルを作れば、雨の時も濡れずに乗り換えができ、南と北の行き来もしやすくなるのではないか。ぜひ区で考えてもらいたい。
- ・区内の移動はバスしかないが、すぐ来ないし、雨だとぬれてしまう。

■自転車の現状と要望

- ・道がせまくて、自転車が危ない。
- ・駐輪場が少ない。
- ・駐輪場の出入り口が入口と出口で分かれていてわかりにくい。出入り口は同じほうが便利だと思う。
- ・電動式の乗り捨て型シェアサイクルがあれば良い。

■電車の現状と要望

- ・鉄道が区内5路線12駅あるというが、区内をうまく運行していない。
- ・交通網がJR中央線で南北に分断されている。
- ・中野坂上から大江戸線とJRを乗り継がないと中野へ行けない。
- ・JRと中野坂上をつなげたらいい。

■タクシー・車の現状と要望

- ・新しいなかのんがあれば良い。小さいワゴンに、相乗りで区内の病院やお店などにいける手段があると良いと思う。事前に予約して自宅まで迎えにきてくれれば、高齢者でも利用できる。

■その他

- ・新しい体育館への交通手段が発表されていない。
- ・中野駅西口広場について進展がないのか、全然状況が区民に伝わってこない。区民ももっとコミュニケーションをとってほしい。

発表に対する区長のコメント

中野区は道が狭い。交通の基盤としては弱いと感じている。

区内の道が狭いことについて、ブロック塀が区内にまだ15,000か所あり、災害発生時などそのブロック塀が倒れたりして道をふさいでしまうなどの危険もあることから、まずはブロック塀の対策を第一に行っていきたいと考えている。

■バスの現状と要望

・バスに関しては、現状中野新橋から中野駅までのバスが1時間に1本しか運行していないことや、南部高齢者会館から中野駅間のバスについても、もともと要望がありつくられたルートだが、日中2人しか利用がないという状況もあり本数が減少している。区内での移動は「バス」という意見もあったことから、もっとバスの利用を便利にしていく必要がある。

・バスターミナルは、乗り換えが便利になれば全体が便利になる。

■自転車の現状と要望

・駐輪場の出入り口については、今後現場を見に行きたいと思う。

・シェアサイクルについても検討中である。現在他区が実施しているシェアサイクルのネットワークに入れば、自転車はもっと便利になると思う。

■電車の現状と要望

・中野坂上駅とJRの接続についても課題として認識している。

■タクシー・車の現状と要望

・区内の病院やお店などの拠点をを運行するバスについては、現在区でも検討しており、来年度実証実験を行う予定である。

■その他

・新しい体育館への交通手段も課題である。

・中野駅西口は2026年完成予定。駅舎もつくる。現在、人工地盤を作るための杭を打つ工事をしているが、これば雷車が動いていない夜中しか作業ができないため、時間がかかっている。